

成果の刊行に関する一覧表【平成16～18年度】

飯田信世、 <u>江上格</u>	外来癌化学療法における皮下埋込型中心静脈ポートの有用性と留置手段のコツ	癌と化学療法	33	639-643	2006
松谷毅、 <u>江上格</u>	切除不能肝・大動脈周囲リンパ節転移巣を伴った大腸癌に対し原発巣切除後にTS-1/CPT-11併用療法が有効であった1例	癌と化学療法	33	1337-1340	2006
渡辺秀裕、 <u>江上格</u>	治癒切除胃癌の再発死亡例(高齢者と若齢者の比較検討)	日本高齢者消化器医学会誌	7	64-70	2005
<u>江上格</u>	肝細胞がんの治療後のフォローアップ診療	治療	87	1509-1504	2005
松谷毅、 <u>江上格</u>	Schnitzler 転移による約17cmの直腸狭窄症状の改善に金属ステント留置が有用であった1例	Gastroenterological Endoscopy	47	343-347	2005
宮本昌之、 <u>江上格</u>	大腸癌肝転移症例の検討	多摩消化器シンポ誌	18	36-40	2004
渡邊秀裕、 <u>江上格</u>	リンパ節転移の予後に及ぼす影響(高齢者胃癌治療切除例での検討)	日本高齢者消化器医学会誌	6	24-29	2004
山村進、 <u>江上格</u>	下大静脈に接した再発肝癌に対してマイクロ波凝固療法, エタノール注入療法が著効した1例	臨床外科	59	347-350	2004
横山正、 <u>江上格</u>	「膵癌のリスクファクター」糖尿病: 過去10年間の自験症例における検討から	膵臓	19	110-117	2004
松久威史、 <u>江上格</u>	食道神経鞘腫 [特集: 内視鏡の読み方]	臨床消化器内科	19	1195-1198	2004
<u>土屋嘉昭</u>	がん患者の悩み	県立がんセンター新潟病院医誌	43	1-5	2004
長濱正吉、 <u>土屋嘉昭</u> 、他	膵頭十二指腸切除後の膵空腸吻合部感染症例の検討	日本外科感染症学会雑誌	3	491-494	2006
田中屋宏爾、 竹内仁司	遺伝性非ポリポーシス大腸癌に対する予防的手術を行った上行結腸癌の1例	日本外科系連合会誌	30	634-637	2005
光山昌珠	第4章社会学 乳癌治療におけるインフォームドコンセント	医学のあゆみ	別冊	489-491	2004
光山昌珠	死亡率低減に向けての新たな展開	治療学	39	189-197	2005
光山昌珠	乳がん治療後の患者ケア	治療	87	1515-1519	2005

成果の刊行に関する一覧表【平成16～18年度】

光山昌珠	2005年「ザングトガレン」コンセンサスミーティングの報告	臨床と研究	82	1688-1692	2005
佐々木常雄	再発・進行胃癌に対する新しい多剤併用療法 LV/5-FUを含む胃癌の多剤併用療法	癌と化学療法	31	1952-1956	2004
佐々木常雄	胃癌治療ガイドライン改訂について	癌と化学療法	31	1947-1951	2004
佐々木常雄	第Ⅲ章 胃癌の治療 5. 化学療法 (1) 総論	臨床消化器内科	19	904-912	2004
佐々木常雄	胃癌対策最前線 ガイドラインからみた胃癌治療対策	Frontiers in Gastroenterology	9	42-47	2004
佐々木常雄	胃癌へのアプローチ その2 胃癌治療ガイドライン その有用性と問題点・最新の治療法をめざして	Medical Practice	21	14-21	2004
佐々木常雄	エビデンスとガイドライン 胃癌治療のガイドライン・改訂版について	最新医学	59	210-218	2004
佐々木常雄	がん治療後の患者ケア:消化器系がん(抗がん剤治療後)	治療	87	1503-1508	2005
佐々木常雄	胃癌治療ガイドラインはどのように変わったか	外科治療	93	489-495	2005
岡元るみ子、 佐々木常雄	肺原発悪性リンパ腫	呼吸器科	8	209-215	2005
佐々木常雄、他	抗がん剤適正使用ガイドラインNo.3 胃がん、肝がん	Int J Clin Oncol	11	1341-9625	2006
佐々木常雄	がん化学療法のベストケア	エキスパートナース	2006 .11 臨時 増刊	1-146	2006
永井宏和	Rituximabによる有害反応と輸注時の注意点	血液・腫瘍科・特別増刊号「悪性リンパ腫のすべて」	49	405-409	2004
永井宏和	リスク因子と予後 —代理指標から特異的指標へ—	最新医学	59	27-33	2004
永井宏和	リツキサンの急性毒性	血液・腫瘍科	49	515-519	2004
永井宏和	支持療法	FRONT WAVE in HEMATOLOGY	12	12-15	2005

成果の刊行に関する一覧表【平成16～18年度】

永井宏和	限局期びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の現在の標準治療は何か？	血液・腫瘍科	52	179-183	2006
永井宏和	治癒可能な血液腫瘍ーびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫ー	Medicina	43	1139-1142	2006
永井宏和	造血器腫瘍ー基礎・臨床領域における最新の研究動向ー 病因・病態解析ー最近の展開ー 悪性リンパ腫	最新医学	65	80-85	2007
神山泰彦、 藤谷恒明、 長井吉清	大腸癌に対する腹腔鏡下手術 (LAC) は患者に優しい治療法か？	日本癌治療学会誌	39	523	2004
長井吉清、他	EORTC QLQ-C30 により一般病棟と対比した緩和ケア病棟入院がん患者の QOL の状況	緩和医療学	7	294-300	2005
長井吉清、他	主要 3 癌のステージ別ベースライン QOL	日本癌治療学会誌	41	898	2006
菊地惇	緩和ケア	治療	87	1566-1570	2005
菊地惇	がん患者の疼痛対策と家庭医のかかわり	実験治療	681	108-112	2006
森永奈美、 岡田美登里、 木村秀幸、他	フェンタニールパッチを中心としたオピオイドローテーションー半面貼付を試みてー	岡山済生会病誌	36	92-95	2004
木村秀幸	緩和ケア病棟の日常からーがん疼痛コントロールを含む	がんの悩み電話相談室 会誌	8	9-22	2005
福田展之、 木村秀幸、他	悪性腫瘍終末期の輸液と剖検時の肺の重量についての検討	岡山済生会病誌	37	12-15	2005
藤山泰子、 木村秀幸、他	緩和ケア病棟と一般病棟でのエンゼルケアの違い	岡山済生会病誌	37	66-69	2005
雲かおり、 木村秀幸、他	死を看取った家族の心理ー遺族への面接を試みてー	緩和医療	13	82-84	2005
鯉谷知子、 木村秀幸、他	緩和ケア病棟におけるチームアプローチの必要性について	緩和医療	13	86-88	2005
内田康子、 木村秀幸、他	一般病棟へのオピオイド回診を試みて	岡山済生会病誌	37	52-55	2005
木村秀幸	院内緩和ケアチームの現状と問題点	緩和医療研究会誌	14	37-52	2007
大野真司、他	外来化学療法法のクリニカルパス (2) 乳癌	コンセンサス 癌治療	3	136-139	2004

成果の刊行に関する一覧表【平成16～18年度】

片岡明美、 大島彰、 大野真司	チーム医療--患者と家族が求める医療遂行のためのシステム構築-	乳癌の臨床	19	441-447	2004
大野真司、他	癌告知とインフォームド・コンセントにおける narrative based medicine	臨床外科	6	1109-1116	2005
片岡明美、 大野真司、他	乳癌の血清 Her2 測定の臨床的意義とトラスツズマブ治療効果予測、治療 monitoring への有用性	癌の臨床	51	251-256	2005
片岡明美、 大野真司、他	分子マーカーによる検査法の発展	治療学	39	139-145	2005
大野真司、 阿比留衣子	乳癌に対するチーム医療	日本臨床	64	570-574	2006
塚越俊夫、 鮫島伸一、 澤田俊夫	「がん体験者の悩み」調査と群馬県立がんセンターの地域特性	群馬医学	81	39-43	2005
塚越俊夫	子宮のがん・卵巣の悪性腫瘍(婦人科がん治療後のケア)	治療	87	1526-1531	2005
塚越俊夫	クリニカルパス	桐生タイムス			2005
平山功、 阿部鋭子	癌性心膜炎	看護技術	53		印刷中
大倉久直、 大谷幹伸	腫瘍マーカー	medicin	41	835-837	2004
大倉久直	高齢者と腫瘍マーカー	老年医学	42	1423-1427	2004
大倉久直	大腸癌の診断腫瘍マーカー	消化器外科	28	692-695	2005
大倉久直	腫瘍マーカーの使い方、その適応と限界を探る	medicina	42	1923-1925	2005
大倉久直	総論 1 腫瘍マーカーは早期診断にどこまで有効か	日本内科学会雑誌	94	2479-2485	2005
大倉久直	腫瘍マーカーの半減期	Medical Technology	34	753-758	2006
堀光雄、 大倉久直	腫瘍マーカー検査の将来展望と適切な活用の仕方	検査と技術	34	1027-1032	2006
山下浩介	知っておきたい今日の放射線治療	看護実践の科学	29	4-7	2004
山下浩介	放射線治療と患者ケア	治療	87	1543-1548	2005
久保田彰、 山下浩介、他	下咽頭扁平上皮癌に対する化学放射線同時併用療法の検討	頭頸部がん	32	541-547	2005
井沢純一、 山下浩介、他	患者から医学生へのメッセージ	ホスピスと在宅ケア	13	214-219	2005

成果の刊行に関する一覧表【平成16～18年度】

田伏克惇、他	凝固焼灼器の将来展望	医科器械学	174	298-302	2004
田伏克惇、他	特集 - 肝臓癌 - 診療のシンポジウム - Ablative Therapy	Medico	35	139-141	2004
庄野嘉治、 田伏克惇、他	膵頭部腫瘍像を呈した十二指腸原発 gastrointestinal stromal tumor(GIST)の1例	外科	66	590-593	2004
堀内哲也、 田伏克惇	開創器、牽引開創器、開胸器	外科	67	1493-1497	2005
椿原秀明、 田伏克惇、他	新しいマイクロ波メスを用いた肝切除術	手術	59	1715-1719	2005
中井博章、 田伏克惇、他	へら型マイクロ波メスを用いた肝切除	臨床外科	60	1021-1027	2005
金岡俊雄	前立腺がん、膀胱がん、腎がん	治療	87	1532-1536	2005
吉田光、 野口和典	腹水 - 低アルブミン血症を如何に改善させるか？如何なる症例が改善するか？ -	肝胆膵	54	93-101	2007
野口和典、 船越禎広	Denver-shunt の適応と治療成績	肝胆膵	50	775-781	2005
井上賢一	再発乳がん（抗がん剤治療後）	治療	87	1520-1525	2005
井上賢一	乳がんの内科的治療 ホルモン療法, 化学療法, 分子標的薬	がん看護	10	470-476	2005
井上賢一	乳がんの外来化学療法と在宅医療の現状と将来	癌と化学療法	33	595-598	2006
甲斐敏弘、 井上賢一	多施設臨床研究と NPO 法人 NPO 法人乳がん臨床研究グループ(SBCCSG)の試み	癌の臨床	52	463-469	2006
小池 眞規子	高齢者の望む「望ましい死」	高齢者ケア	9	88-93	2005
渋谷昌三 小池 眞規子 藤巻貴之	気分線画評定尺度(MFAS)作成のための基礎的研究	目白大学心理学研究	創刊号	41-47	2005
小池眞規子	親との死別を経験するとき	臨床心理学	6	466-470	2006
小池眞規子 松島英介	がん患者のためのサポート・プログラム	精神科	19	430-434	2006
小池眞規子 渋谷昌三 藤巻貴之	リラックス感尺度作成の試み - 大学生を対象として -	目白大学心理学研究	3	(印刷中)	2007
古賀聡、 矢野篤次郎	著明な炎症所見を伴った未分化肺癌の2例	胸部外科	57	245-8	2004

成果の刊行に関する一覧表【平成16～18年度】

矢野篤次郎、他	肺癌手術におけるステロイド 予防投与－術後間質性肺炎予 防に向けて－.	胸部外科	58	37-40	2005
財前行宏、 矢野篤次郎、他	肺癌様結節影を呈し経皮針生 検で確定診断を得た結核の2 症例	大分県医学会雑誌	23	7-11	2005